

### <設備・機器の修理や新設>

部門 website に機器一覧、機器オンライン予約、お知らせ、申請書類ファイル、セミナー記録、技術講習会活動記録、ニュース、会議・講習会参加記などが掲載されています。最新情報は随時更新しています。ぜひご覧ください。 <http://shimane-u.org/index.htm>

機器のオンライン予約を行うためには、利用代表者のユーザーID およびパスワードが必要です。遺伝子機能解析部門事務までお問い合わせください。新たに予約オンライン化を希望される機器がございましたらご連絡ください。

中国地方バイオネットワーク受託サービスが行われています。中国5県の遺伝子関連施設が実施している受託サービスを利用することができます。詳しくは、中国地方バイオネットワーク連絡会議のHP (<http://grc2.med.tottori-u.ac.jp/bionet/jutaku.html>) をご覧下さい。本遺伝子機能解析部門は共焦点レーザー顕微鏡観察受託サービスを担当しています。

紫外可視分光光度計 ThermoFisher Evolution 220 (310 室)、遺伝子増幅装置 BioRad T100 サーマルサイクラー (310 室)、遺伝子増幅装置 ThermoFisher SimpliAmp Thermal Cycler (310 室)、冷却微量遠心機 (KUBOTA 3740) の 15 mL コニカル管用アダプター (AF-5004CH ローター用アダプター) (310 室)、超音波破碎機のリストスタンド LST-100 と消音ケース NRC-200 を導入しました。

### <行事>

機器談話会を開催しました。

平成30年3月14日(水) 「平成29年度 第2回 遺伝子機能解析部門機器談話会」

利用説明会を開催しました。

平成30年4月18日(水) 「平成30年度 遺伝子機能解析部門利用者説明会 (第1回)」

教育訓練を開催しました。

平成30年5月16日(水)、5月24日(木) 「放射線業務従事者新規登録者教育訓練」

平成30年3月26日(月)、4月19日(木) 「放射線業務従事者再教育訓練」

整備使用検討会を開催しました

平成30年2月26日(月) 「動物細胞培養室整備使用検討会」

### <技術講習会開催>

第133回 平成30年2月15日(木)

「 $\gamma$ 線測定装置 2480 WIZARD2 の利用説明会」

第134回 平成30年3月20日(火)

「紫外可視分光光度計 Evolution 220 取扱説明会」

第135回 平成30年4月11日(水)

「植物組織切片作成に便利なプラントミクロトームの技術講習会」

第136回 平成30年4月23日(月)  
「オールインワン蛍光顕微鏡の操作説明会7」

第137回 平成30年5月15日(火)-16日(水)  
「正立型共焦点レーザー蛍光顕微鏡説明会10」

第138回 平成30年5月22日(火)  
「ソニケーター リフトスタンド使用説明会」

### <セミナー開催>

第238回 平成30年1月22日(月)  
(第359回 細胞工学会研究会講演会)  
演題 ラマン分光法は医療診断に革命をもたらすか?  
尾崎 幸洋 氏(関西学院大学理工学部)

第239回 平成30年2月2日(金)  
(第360回 細胞工学会研究会講演会)  
演題 ケトン体サプリメントの事業化とその可能性  
河田 悦和 氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

### <スタッフの異動>

平成30年4月1日 西村浩二 学術研究院農生命科学系准教授(生物資源科学部担当)に昇任  
平成30年5月1日 蜂谷卓士 学術研究院農生命科学系助教(研究・学術情報機構担当)に採用

2018年3月31日をもって、学術研究院農生命科学系(生物資源科学部担当)へ異動しました。2003年10月の総合科学研究支援センター設立に伴い、旧遺伝子機能解析分野に着任して以来、およそ15年間にわたり専任教員として、本学の教員と学生に対して教育研究支援業務に従事してまいりました。また学外活動として、バイオ実験体験講座を通じて地域の小中高校生に対して生命科学の啓蒙活動を行い、また県下の研究機関との共同研究を行うことで地域社会に向けた教育研究活動にも携わってまいりました。特に、2009年度に遺伝子機能解析部門に設置された共焦点レーザー蛍光顕微鏡を活用した蛍光バイオイメージングの教育研究支援活動を開始し、10年間バイオイメージングの普及に力を注ぎました。学外向けには、大学連携研究設備ネットワークを通じてバイオイメージングの受託サービスも行ってきました。今後は、遺伝子機能解析部門の兼任教員として、部門との共同研究を続ける一方で、部門利用者の観点から部門の発展に少しでもお力になればと思っております。

総合科学研究支援センターの教職員の方々、特に遺伝子機能部門の中川先生、芦田先生、職員の山根さん、清水さんには、長い間、大変お世話になりました。この場をお借りしまして、感謝の意を表したいと思います。15年間、本当にありがとうございました。

西村浩二

本年5月1日に総合科学研究支援センター遺伝子機能解析部門の助教に着任した蜂谷卓士と申します。植物の窒素栄養応答メカニズムの解明を目指し、生理生態学から分子遺伝学にわたる幅広い手法

を用いて研究しております。これまで自身で研究を進めるだけでなく、共同研究プロジェクト等への参加を通じて、国内外の様々な分野の研究者と連携して参りました。当センターでは、このような経験を活かし、皆様方の円滑な研究プロジェクト推進の一助となれるよう尽力する所存です。他方、私の方から皆様にお力添えを乞うことあるかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。ご相談事等ございましたら、些細なことでも結構ですので、どうぞお気軽にお声掛けください。

蜂谷卓士